



・病院病理部

## 病院病理部のご紹介

当院の病理部門には、7名の病理専門医（非常勤を含む、うち5名が細胞診専門医）を含む13名の医師と、11名の臨床検査技師（非常勤と病理研修職員を含む、うち10名が細胞検査士）1名の事務職員が勤務しています。附属病院の患者さんに対する病理検査だけではなく、外部医療機関からの受託もお受けしています。このうち病理組織診断（生検、手術材料）と細胞診は、検体を直接お送りいただくか岡山医学検査センター経由でご依頼いただくことも可能です。術中迅速診断と病理解剖（剖検）につきましては、直接病院病理部にご連絡をお願い致します。初めてお申し込みになる際には、手続き等についてご説明させていただきます。当院に患者さんをご紹介いただく際、病理標本（プレパラート、診断書、切り出し図など）がございましたら紹介状と一緒にご持参いただけますと大変ありがたく存じます。標本は、診断を確認した後に返却させていただきます。また、病理診断について、患者さんがセカンドオピニオンを求められた際は、該当する診療科を通じての受診をお願い致します。質の高い病理診断をご提供できるよう努力致しますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

病院病理部部長（教授） 森谷卓也

・地域医療連携室からのお知らせ

## 第19回 Oncology Seminar

日時：2021年3月12日（土）13:45～15:15

テーマ：肺がん手術の歴史と現況 ～周術期の看護とリハビリまで～

講演：1「看護師の立場から 入院時から周術期、退院までの看護」

川崎医科大学附属病院 9階中病棟 看護師 岡本 敏寛

2「術後の合併症予防とQOLの改善を目指すリハビリテーションについて」

川崎医科大学附属病院 リハビリテーションセンター

理学療法士 森國 順也

3 「肺がん手術の歴史と現況」

川崎医科大学附属病院 呼吸器外科副部長 清水 克彦

対象：看護師・薬剤師・医療スタッフ・研修医・学生

申込方法：Zoomでの視聴のみです。ご希望の方は 2月20日までに

renkei@med.kawasaki-m.ac.jpに①所属名②ご芳名③職種を明記のうえメールでお申し込みください。

\*詳細は別途、ご案内いたします。